

岐阜県家庭教育学級実践事例

講演会型・在宅取組型(小学校)

学校名等	揖斐川町立北方小学校
実施日時	在宅取組:令和6年5月22日(水)~28日(火) 令和7年1月22日(水)~28日(火) 講演会:令和6年6月22日(土)
会場	揖斐川町立北方小学校
参加人数	在宅取組:全校児童(児童99名) 講演会:全校児童及び保護者(児童99名・保護者30名)
学習課題(分野)	ノーテレビ・ノーゲーム・デー(5月・1月) 青少年の安全・安心なスマートフォンの利用について (社会のルール・自制心・家族の大切さ)
運営者の願い	ノーテレビ・ノーゲーム・デーの取組を通して、親子で話す機会を増やしたい。また、親子で情報モラルの講演を聞き、ICT機器の使い方について一緒に考えたい。
学習の内容	
<p><開催までの経緯> 令和5年度から「ノーテレビ・ノーゲーム・デー」の取組を行い、児童の生活習慣の見直しやICT機器の使い方について、親子で考える機会としてきた。そのような中、ICT機器の利用に伴い、SNSなどでのトラブルも発生し、それが原因で学校内での人間関係がうまくいかなくなる事例も見られるようになった。そして、そのトラブルを、なかなか自分達で解決できないことが増えてきた。そういった課題を解決するために、「ノーテレビ・ノーゲーム・デー」の取組と情報モラルの講演会を同じ1学期に実施した。</p> <p><ノーテレビ・ノーゲーム・デー> テレビを消して、家族で楽しめる時間を確保することを目的に、以下の目標で取り組んだ。(5月と1月に実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事中はテレビ・ネット動画を消す ・ 夜寝る1時間前からは、テレビ・ネット動画・ゲームをやめる ・ テレビ・ネット動画・ゲームの時間の目標を決める <p>1週間の取組の後、その取組の様子を親子で振り返った。振り返った内容については、子育て委員会のたよりを発行し、全家庭で共有した。</p> <p><情報モラル講演会> スマートフォンやゲーム機でのトラブルの事例を挙げながら、上手に使うためにはどうしたらよいかを考える機会とした。特に、親子で約束を決めて使用することが確認した。</p> <p><感想> (1)ノーテレビ・ノーゲーム・デー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事中にテレビを消すことで会話が増えました。 ・ 代わりに遊びを提供し、テレビやゲームの時間を減らすことができました。 ・ 学校であったこと、面白いことなどをたくさん聞くチャンスがあって良かったです。 <p>(2)情報モラル講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親子で、話し合っ規則を決める。親もルールを守ってその姿を見せることが大切だと思います。 ・ 子供の目の前でスマートフォンを観るのを控えて、できるだけ会話を楽しみたいと思います。 ・ 家で、子供に上手く伝えられなかったことが研修を通して伝わり、自分のためにもなりました。 ・ 携帯を持つことが当たり前の時代、親子でスマホの使い方の話し合いをしたいと思いました。 	



課題意識の共有

子育て委員会で取り組んでいる「ノーテレビ・ノーゲーム・デー」に関連させ、研修委員が「情報モラル講演会」を実施した。学校の課題を共有し、活動を仕組むことができた。



継続実施

子育て委員会の「ノーテレビ・ノーゲーム・デー」は、継続して取り組んでいる活動である。定期的に、親子で生活を見直したり、考えたりする場をもつことができた。



関係機関との連携

研修委員会の「情報モラル講演会」は、県職員の出前トークを活用した。関係機関を利用することで、より専門的な話を聞くことができた。